

事業所名

クオール上大岡教室

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

3月

18日

法人（事業所）理念	一人ひとりの心に寄り添う ～幸せな人生を送るために～					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クオールに関わる、すべての人の幸せを探求します。</li> <li>・児童から学び、成長していく事業所をつくります。</li> <li>・心の痛みに気づき、寄り添い、柔軟なアイデアで試行錯誤する職員集団をつくります。</li> <li>・地域社会の一員であることを常に意識し、社会参加を意識した支援を検討します。</li> <li>・継続的なサポートを実現するため、健全な事業運営に取り組みます。</li> </ul>					
行動規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せのあり方は、一人ひとり違うことを認め、多様な考え方を受入れます。</li> <li>・神経多様性の視点から、違いを優劣ではなく個性と捉え、尊重します。</li> <li>・根拠のある支援を行うため、最新の知見を取り入れ、自己研鑽に励みます。</li> <li>・批判的思考をもち、提供するサービスの質を高めます。</li> <li>・肯定的、教育的、予防的な方法で支援します。</li> <li>・正しく記録された事実から支援を検討します。</li> <li>・安心して自分を表現できる身近な大人となれるよう、信頼関係の構築に努めます。</li> <li>・児童の細かな変化にも気を配り、職員間で共有し、必要な支援を検討します。</li> <li>・児童一人ひとりの将来の姿をイメージしたうえで、今、学ぶべきことを検討します。</li> <li>・社会参加の機会を設けて、成功体験ができるように支援します。</li> <li>・興味関心に合わせたプログラムを検討し、通所が楽しみになるように努めます。</li> <li>・ワークライフバランスを意識し、心身ともに健康な状態で働きます。</li> <li>・職場の負担感には配慮しながらも、定期的に有給休暇をとり、リフレッシュします。</li> <li>・チームワークを意識し、職員間の良好な関係性づくりに努めます。</li> </ul>					
営業時間	10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり（基本は保護者送迎だが、状況に応じて相談のうえ実施）
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低年齢児（年中未満）には母子分離から支援する。</li> <li>・児童の行動について困り感を抱える保護者に対しては、ペアレントトレーニングを実施し、応用行動分析と環境調整について学べるよう支援する。</li> <li>・公式LINEを活用し、クオールでの活動報告、日常生活の困りごとに対する相談支援を行っている。療育の様子は写真や動画等（他児童が映り込まないようにチェックした後に送付）で共有することもある。また心理検査の結果等も、必要に応じてデータ等で共有することがある。</li> <li>・リアルタイムでのやりとりが必要な場合には、電話相談の対応もっており、保護者の不安に寄り添い、傾聴、励まし、助言等を行うことがある。</li> </ul>			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満児においては、保育園、幼稚園への移行を視野に入れて、必要な準備を検討する。</li> <li>・児童を安心安全に送迎できるように、保育園、幼稚園と必要な連携を行っている。</li> <li>・併行通所先等での計画も、必要に応じて種類またはデータ等で共有することがある。この場合、保護者が調整役を担い、クオール専用の連絡袋または公式LINEを活用して共有する。</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な状況説明やルールについては、事前に視覚的に教示する他、ロールプレイ等で学べるように支援している。</li> <li>・公園や買い物、余暇施設など、地域に出向いていき、公共の場のマナーや活用方法について児童が学べるように支援している。</li> </ul>			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研修計画にて、資質向上のための一定の研修（主にTEACCH、ABA、SST、ESDM）を受講できるようにしている。</li> <li>・キャリアパスとして自己研鑽に対して一定の評価を与えるしくみがある。</li> <li>・外部の専門家（大学教員等）と連携し、実践報告をする機会をつくり、知識と実践が結びつくような働きかけをしている。</li> </ul>	
主な行事等	<p>&lt;AM&gt;各児童の必要性に応じて、季節のイベントや、外出企画を行うことがある。</p> <p>&lt;PM&gt;小学校での長期休暇期間中は、外出に行くことがある。</p>					

**<午前の部 (10:00~12:00) > 支 援 内 容**

定員：3~4名 対象児童：年中以下

<時間帯> プログラム内容 (例)	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係 社会性
ESDMカリキュラム チェックリスト (対象児：年少未満)	ESDMカリキュラムチェックリストに基づくアセスメントを実施し、短期集中的な指導目標を設定したうえで、それぞれの支援を行う。 (一日一名に限る)				
<クォール到着後> 身支度	事業所に到着してからの一連の流れ (提出物、荷物の片付け、検温、手洗い) をルーティン化し、徐々に自立的に行えるように支援する。	ロッカーのサイズ、ハンガー使用の有無、提出物置場の扱いやすさ等、児童の特性に合わせて環境を整える。	ロッカーから手洗い場までの動線を、分かりやすいように整備している。一連の流れは番号、文字、イラストを使った手順書で示す。	検温は支援員が行うが、徐々に児童から依頼ができるように支援する。	—
<プログラムの合間> フリータイム	プログラムの合間にフリータイムがあることで、切替えの自然な動機付けになるような環境を整える。	活発に遊べるエリアを設けることで、室内でも、感覚入力を十分にできるような環境を整える。	行動問題が観察された場合、応用行動分析の枠組みで支援方法を検討している。他者の表情、態度、状況に気づけるよう、適宜、必要な声かけを行い、楽しい遊びが継続できるように支援する。	自由な関わり遊びを観察する中で、児童ごとに学ぶべきコミュニケーションスキルを検討している。拡大・代替コミュニケーションが必要な児童に対しては、絵カード等を用いて意思疎通がとれるよう配慮する。	遊びの段階アセスメント (感覚遊び、傍観遊び、並行遊び、連合遊び、協同遊び) を実施し、段階的に必要な支援を検討し、実施する。
<10:15/11:55> 片付け	使った玩具を、元の場所に戻す時間を設け、片付けの習慣化を支援する。	玩具箱は大きめの箱を用いる等、片付けやすいような環境を整える。	認知発達レベルに合わせた手掛かりを設置することや、具体的な指示を出すことで自立的な片付け行動が形成できるように支援する。	—	まずは自分が使った玩具は、自分で片付けるところから支援する。
<10:20/12:00> はじめの会 かえりの会	保育園、幼稚園に必要なサバイバルスキルをアセスメントし、集団活動に参加していくための支援を検討し、実施する。	手遊び歌の時間を設け、楽しみながら音声・表情・動作の模倣に繋がるよう支援する。	椅子を設置し、座る場所を明確に伝える。会で行うものは机の上の具体物で示され、「おわり」の度になくなることで見通しを伝える。	会の進行の中でも、児童が参加できる部分を検討することで、適宜コミュニケーションを取りながら参加できるように支援する。	児童の年齢、特性を見極めながら、必要に応じて会のプログラム内容や順番等を見直し、参加できる部分を探っていく。
ねこの部屋 (制作、書字・読みレディネスetc)	季節の制作を取り入れることで、時期的な変化を感じ取れるように支援する。	制作に必要な微細運動 (ハサミ、のり、テープの使用) を支援する。	認知発達レベルに合わせた制作や課題 (プリント類) を提供する。	物の貸し借りを学ぶことを支援する。必要に応じて手助けを要求する行動レパトリーを形成できるよう、児童に合わせた支援を検討し、実施する。	まずは大人との関わりから、適切な社会性を学べるように支援する。
自習の部屋 (自立課題etc)	—	主に微細運動を扱う。児童の認知発達レベルに合わせた自立課題を提供する。	個別化されたワークシステムを用いて、やるべきことを視覚化したうえで課題を提示し、はじめから終わりまでを自立的に行動できるように支援する。	課題終了の報告を、大人に行うよう教示する。	他者ではなく自らの課題に集中し、向上させていくことを賞賛し、強化されるよう支援する。
大部屋 (制作、運動、ルールゲーム、ロールプレイetc)	—	主に粗大運動、協調運動を扱う。動きに強弱をつける練習や、歩く、飛ぶ、投げる、蹴る等の動作を組み合わせて実施する。	社会的な状況を疑似体験するためのロールプレイを実施し、適切行動のレパトリーを増やせるように支援する。	状況に合わせたセリフを教示し、適切行動のレパトリーとなるよう支援する。	順番を待つ、交代でする等の活動を通して、社会性を育めるように支援する。

本人支援

**<午後の部 (14:30~17:30) > 支 援 内 容**

定員：6~7名 対象児童：集団への移行時期にあるとクォールが判断した児童

<時間帯> プログラム内容 (例)	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係 社会性																																																						
<クォール到着後> 身支度	午前の部と同様				ロッカー付近が混雑した場合、順番待ち又は少し広い場所で荷物の確認ができるように支援する。																																																						
<プログラムの合間> フリータイム	午前の部と同様				まずは大人との遊びから、段階的に児童同士の遊びに広がりをつくるように支援する。																																																						
<15:35/17:15> 片付け	午前の部と同様				自分が使った玩具ではなくとも、片付けに協力をしてくれた児童には積極的な賞賛をすることで、協同する力を伸ばせるよう支援する。																																																						
<16:10/16:40> おやつ	食事の前に手を洗う、順番を待つ、ゴミを捨てる、皿を片付ける行動を自立的にできるように支援する。	スナックの袋を開ける等、自立的に行えるよう支援する。	適切行動(姿勢良く待つ等)を取れている児童から先におやつを選ぶように設定し、適切行動が強化されるように支援する。	おやつはルールを定めたくえで児童が自ら選べるように設定するが、大人とコミュニケーションをして選択できるように支援する。	同じ机で食事の時間を共有し、何気ない日常会話や興味関心を広げていけるように支援する。																																																						
<15:40/17:20> はじめの会 かえりの会	—	—	自分が座る場所がどこであるのか、適度な距離感がどの程度なのかを、床材を色分けするかたちで視覚的に示している。	はじめの会で話す人は誰なのか、質問はどのタイミングで行うべきなのか等、暗黙のルールを明文化して教示している。	集団の中で求められる役割(集団を優先し、個の事情は後で行う)を教示し、会の進行はある程度ルーティンで覚えられるように配慮している。																																																						
【グループ編成：例】1~3名の小グループ×4を基本として、時間帯ごとに各部屋を使いまわすかたちで療育プログラムを実施する。																																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6" data-bbox="145 842 862 874">【上大岡教室タイムスケジュール】 ※アルファベットはグループ名</th> </tr> <tr> <th data-bbox="145 874 264 922"></th> <th data-bbox="264 874 383 922">A</th> <th data-bbox="383 874 501 922">B</th> <th data-bbox="501 874 620 922">C</th> <th data-bbox="620 874 739 922">D</th> <th data-bbox="739 874 862 922"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="145 922 264 970">15:35</td> <td colspan="4" data-bbox="264 922 739 970">片付けタイム</td> <td data-bbox="739 922 862 970">15:35</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 970 264 1018">15:40</td> <td colspan="4" data-bbox="264 970 739 1018">はじめの会 (活発なエリア)</td> <td data-bbox="739 970 862 1018">15:40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1018 264 1066"></td> <td data-bbox="264 1018 383 1066">ルールゲーム</td> <td data-bbox="383 1018 501 1066">ねこ</td> <td data-bbox="501 1018 620 1066">ねこ</td> <td data-bbox="620 1018 739 1066">自習</td> <td data-bbox="739 1018 862 1066"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1066 264 1114">16:10</td> <td data-bbox="264 1066 383 1114">自習</td> <td data-bbox="383 1066 501 1114">ねこ(宿題)</td> <td colspan="2" data-bbox="501 1066 739 1114">おやつ</td> <td data-bbox="739 1066 862 1114">16:10</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1114 264 1161">16:40</td> <td colspan="2" data-bbox="264 1114 383 1161">おやつ</td> <td data-bbox="383 1114 501 1161">自習</td> <td data-bbox="501 1114 620 1161">ねこ</td> <td data-bbox="739 1114 862 1161">16:40</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1161 264 1209">17:15</td> <td colspan="4" data-bbox="264 1161 739 1209">片付けタイム</td> <td data-bbox="739 1161 862 1209">17:15</td> </tr> <tr> <td data-bbox="145 1209 264 1233">17:20</td> <td colspan="4" data-bbox="264 1209 739 1233">かえりの会 (活発なエリア)</td> <td data-bbox="739 1209 862 1233">17:20</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>【各部屋の療育目標】</b></p> <p>&lt;ねこの部屋&gt; 午前の部と同様だが、徐々に就学を見据えたプログラムを検討し、実施していく。</p> <p>&lt;自習の部屋&gt; 午前の部と同様だが、徐々に就学を見据えたプログラムを検討し、実施していく。</p> <p>&lt;大部屋(ルールゲーム)&gt; ※ 就学を見据えた支援として、小学生と合同で実施することもある。予防的・心理教育的な集団SSTを実施し、児童の認知的・行動的・感情的側面の発達を促すことを目標とする。ソーシャルスキルとしては、関係開始、解読、主張性、感情統制、関係維持、記号化などを扱う。なおルールゲームの内容は、児童の興味関心が持続しやすく、かつスキルを発揮する機会が多いものを検討し、柔軟に変えていく。</p> </div>						【上大岡教室タイムスケジュール】 ※アルファベットはグループ名							A	B	C	D		15:35	片付けタイム				15:35	15:40	はじめの会 (活発なエリア)				15:40		ルールゲーム	ねこ	ねこ	自習		16:10	自習	ねこ(宿題)	おやつ		16:10	16:40	おやつ		自習	ねこ	16:40	17:15	片付けタイム				17:15	17:20	かえりの会 (活発なエリア)				17:20
【上大岡教室タイムスケジュール】 ※アルファベットはグループ名																																																											
	A	B	C	D																																																							
15:35	片付けタイム				15:35																																																						
15:40	はじめの会 (活発なエリア)				15:40																																																						
	ルールゲーム	ねこ	ねこ	自習																																																							
16:10	自習	ねこ(宿題)	おやつ		16:10																																																						
16:40	おやつ		自習	ねこ	16:40																																																						
17:15	片付けタイム				17:15																																																						
17:20	かえりの会 (活発なエリア)				17:20																																																						
<時間帯> プログラム内容 (例)	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係 社会性																																																						
大部屋 (ルールゲーム)	簡単な用具(ボールやカード、あるいはボディランゲージ等)があればすぐにできるようなゲームを設定し、学校や学童等でも実施できるようなゲームを体験できるように支援する。	モデリングと行動リハーサルを重視し、感覚的・体験的にスキルを獲得できるように支援する。	主に感情統制を扱う。標的行動が生じやすくなるようなゲーム設定を行い、ルールに基づく自己統制ができるよう支援する。	主に解読、記号化を扱う。その場に相応しい行動レパートリーの獲得や、表情等を推察する力を養えるよう支援する。	主に関係開始、主張性、関係維持を扱う。まずは安心できる相手からはじめて、徐々に多様な関係性の中でもスキルを発揮できるように支援する。																																																						

本人支援